

「富士フイルム 富士宮事業場 労働安全衛生活動」

富士フイルム（株）材料生産本部
富士宮事業場長
土田 秀世

	静岡県 富士宮事業場
創立	1963年10月16日
敷地面積	約357千m² (東京ドーム8個分)
従業員数	約1100名
事業形態	製造・加工生産 プラント・生産ラインの保全 生産技術開発 など



○これまで富士宮を支えてきた既存製品

レントゲンフィルム



写真用印画紙



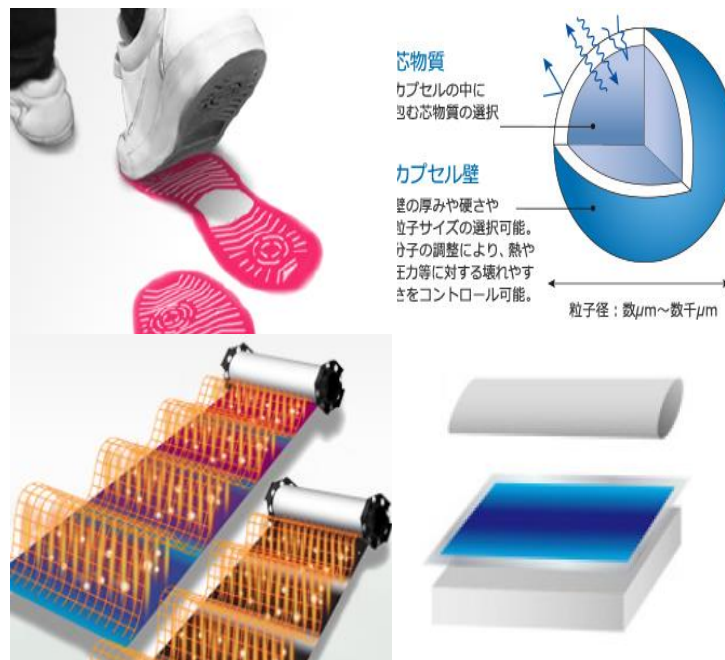
○これからの富士宮を担う新規製品

将来の富士宮事業場を支える製品を創出すべく、
新規創出活動も活発に推進！

タッチパネル用部材



マイクロカプセル



抗菌液/フィルム

富士フィルム製 **Hydro Ag+** で高い抗菌性能が長時間持続

Hydro Ag+ 使用の抗菌フィルム「ビタ貼り®」



抗菌効果のあるAg+が
常にフィルム表面へ
供給され続けるため、
高い抗菌性能と
持続性が生まれます。

※ すべての細菌やウイルスへの効果を保証するものではありません。



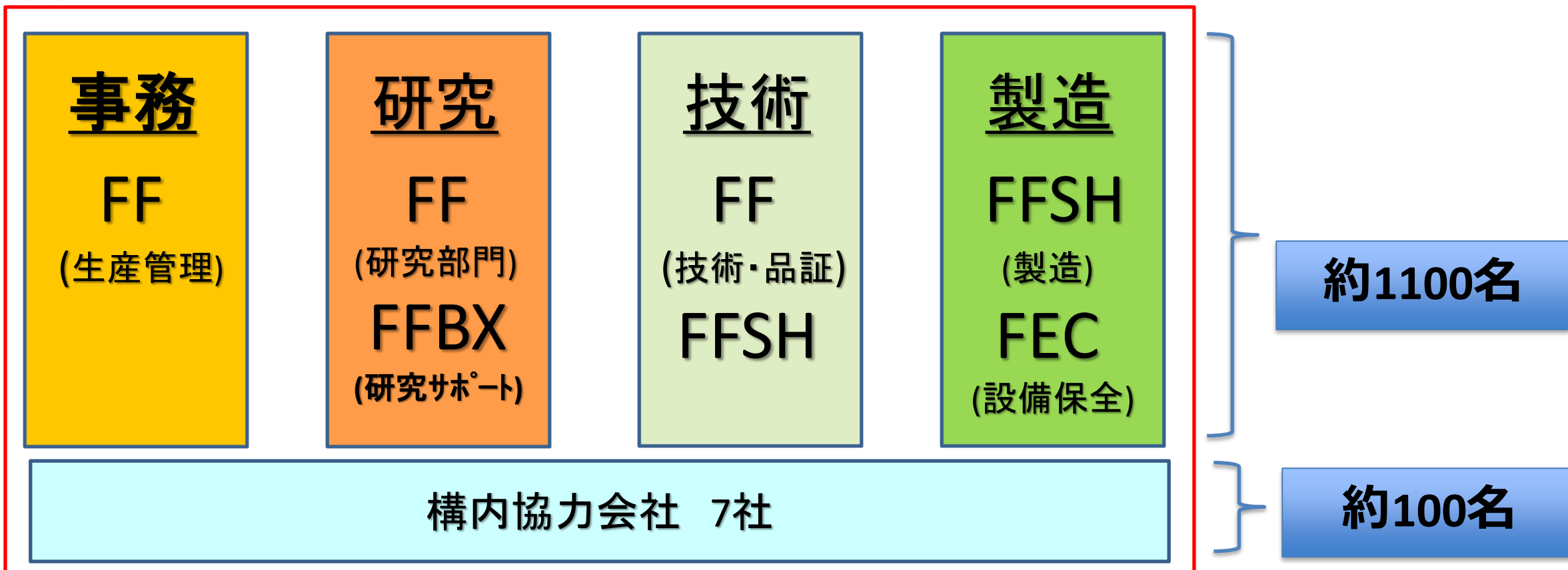
富士宮事業場の構成



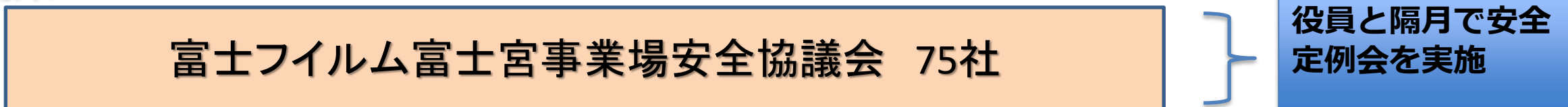
Confidential

※FFBX: 富士フィルムビジネスエキスパート
FFSH: 富士フィルム静岡
FEC: 富士フィルムエンジニアリング

<事業場内>



<事業場外>





大型生産機



暗室工程



大型発電機



大型排水処理



高温工程



防爆工程

安全基本方針：働く人々の安全確保と健康の推進

安全スローガン：全員参加の活動で ケガをしないぞ させないぞ！

2021年度 安全衛生重点施策



全員で、職場のリスクを撲滅し
ゼロ災を実現する！

1. 労働災害ゼロへの取り組み

目 標 : 労災0件/年

(1) 労働災害ゼロの達成

① 全員参加の安全意識向上活動 ～労災を他人事としない～

- ・ 全員参加で考える機会として毎月1日を「安全の日」と設定し、月毎にテーマを決めたリスク(※1)の抽出を行う。
- ・ *チェックシートを活用した点検活動(保護具、転倒関連、労災横展開、班検など)
- ・ 職場の定点観測によるリスク抽出(エリアを絞り決めた時間で行う)
- ・ 意識に残る安全の見える化(安全メッセージの配信及び掲示活用)

② リスクを撲滅する活動の推進 ～第三者の目も入れよう～

- ・ 3H+4Mの視点(※2)で確実にKYを行い、非常作業申請またはリスクアセスメント(深耕RA、CRA)を実践できる風土の醸成
- ・ 第三者の視点も入れてリスクを見つける相互巡思
- ・ 危険を見つける力を養成するKY感度養成教室の全員の受講完了

(2) 労働衛生マネジメントシステム ISO45001 の継続的推進

2. 交通加害事故ゼロへの取り組み

- (1) 通勤途上の加害事故0件/年に向け、交通事故防止啓蒙活動を「見える化」し視覚に訴えながら推進する。

3. 心身の健康づくりと職場環境向上の推進

- (1) 「一無・二少・三多」を目指した健康増進施策(食生活・運動習慣の良化等)の展開。
- (2) 長時間労働抑制、メンタルヘルス推進、ストレスチェック集団分析と職場フォローの継続的な実施。

4. 新型コロナウイルス/防災/激甚災害 対応の推進

- (1) 取り巻く環境の変化に対応させた「新型コロナウイルス感染防止に備えた事業場対応」「富士山噴火行動基準策定」、「激甚地震初動強化(建屋緊急点検含む)」「風水害/浸水防止対応」の想定外をなくした「災害への備え」「行動基準見直し」「訓練」の展開
- (2) 爆発・火災リスクの把握・検証と防災・消防設備の維持管理強化

2022年度 安全衛生重点施策



職場のリスクを見える化し、ゼロ災を達成する！

1. 労働災害ゼロへの取り組み

目 標 : 労災0件/年

(1) 労働災害ゼロの達成

①-1) リスクの「見える化」を推進し災害を防止する

- ・ エリアを絞った抽出活動、過去のエフ貼り活動、ヒヤリハット活動から各職場のリスクを抽出し、安全の日を利用し、更に一步進めた意識に残る「見える化」を推進する。
- ・ リスクポイントを明確にし、共通デザインを用いて「見える化」を推進する。
- ・ *「富 共通デザインを決め、誰がどこに行ってもリスクが分かる様にする

①-2) リスク摘み取り活動の推進

- ・ ヒヤリハット、他事業場労災情報では「類似場所・類似作業はないか？」をキーワードにリスク抽出活動を展開する。
- ・ 3H+4M観点時の積極的な深耕リスクアセスメントを行い、リスクを摘み取る。
- ・ 第三者の視点も入れてリスクを見つける相互巡思、危険を見つける力を養成するKY感度養成教室、危険体感教室を継続して実施する。

②安全教育の推進とルールの定着

- ・ 新人、未熟練者へ「身に付く教育」の工夫を行い、ケガをさせない風土を作り上げていく。
- ・ 安全基本ルール遵守を再徹底し、安全行動が自然にでき、安全な行動を習慣化させる。

(2) 労働衛生マネジメントシステム ISO45001 の継続的推進

2. 交通加害事故ゼロへの取り組み

- (1) 通勤途上の加害事故0件/年に向け交通事故防止啓蒙活動を、交通安全立哨や視覚に訴える施策などの「見える化」で推進する。

3. 心身の健康づくりと職場環境向上の推進

- (1) 「一無・二少・三多」を目指した健康増進施策(食生活・運動習慣良化等)を展開する。
- (2) 長時間労働抑制、メンタルヘルス推進、ストレスチェック集団分析と職場フォローの継続的な活動を推進する。

4. 新型コロナウイルス/防災/激甚災害 対応の推進

- (1) 取り巻く環境の変化に対応させた「新型コロナウイルス感染防止に備えた事業場対応」「富士山噴火行動基準策定」、「激甚地震初動強化(建屋緊急点検含む)」「風水害/浸水防止対応」の想定外をなくした「災害への備え」「行動基準見直し」「訓練」を展開する。
- (2) 爆発・火災リスクの把握・検証と防災・消防設備の維持管理強化

安全衛生推進体制

ISO45001認証取得
(2020年7月にOHSAS18001から移行)

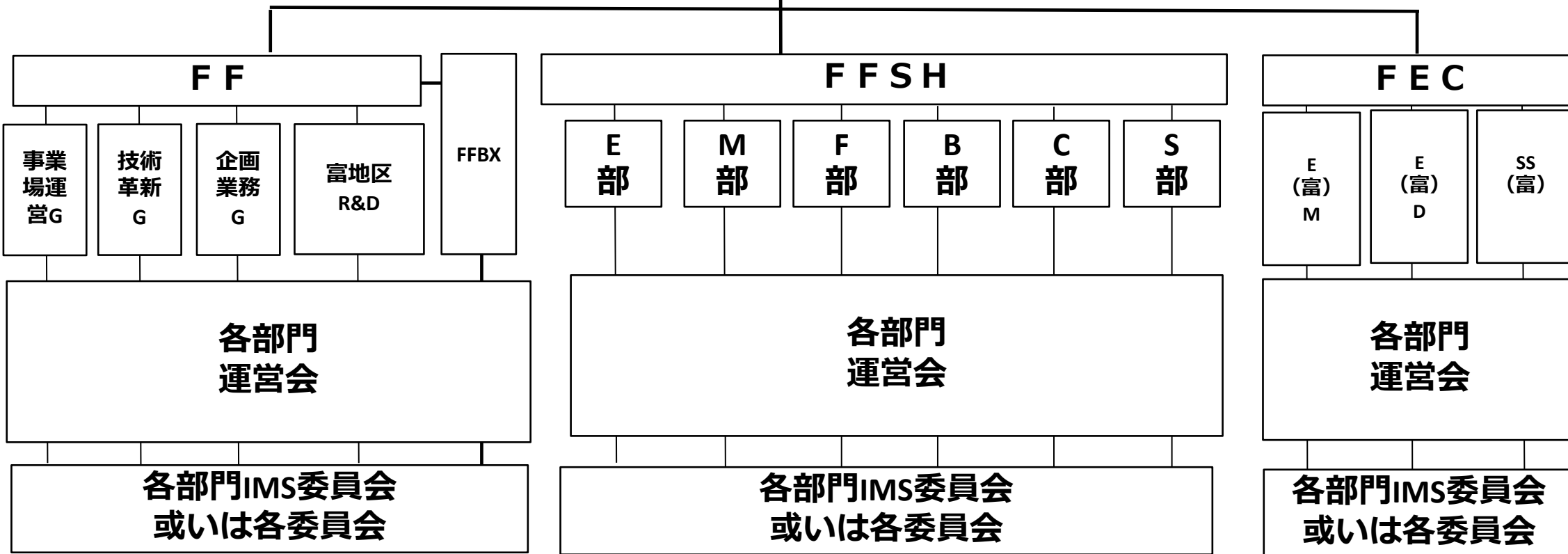
富事業場長

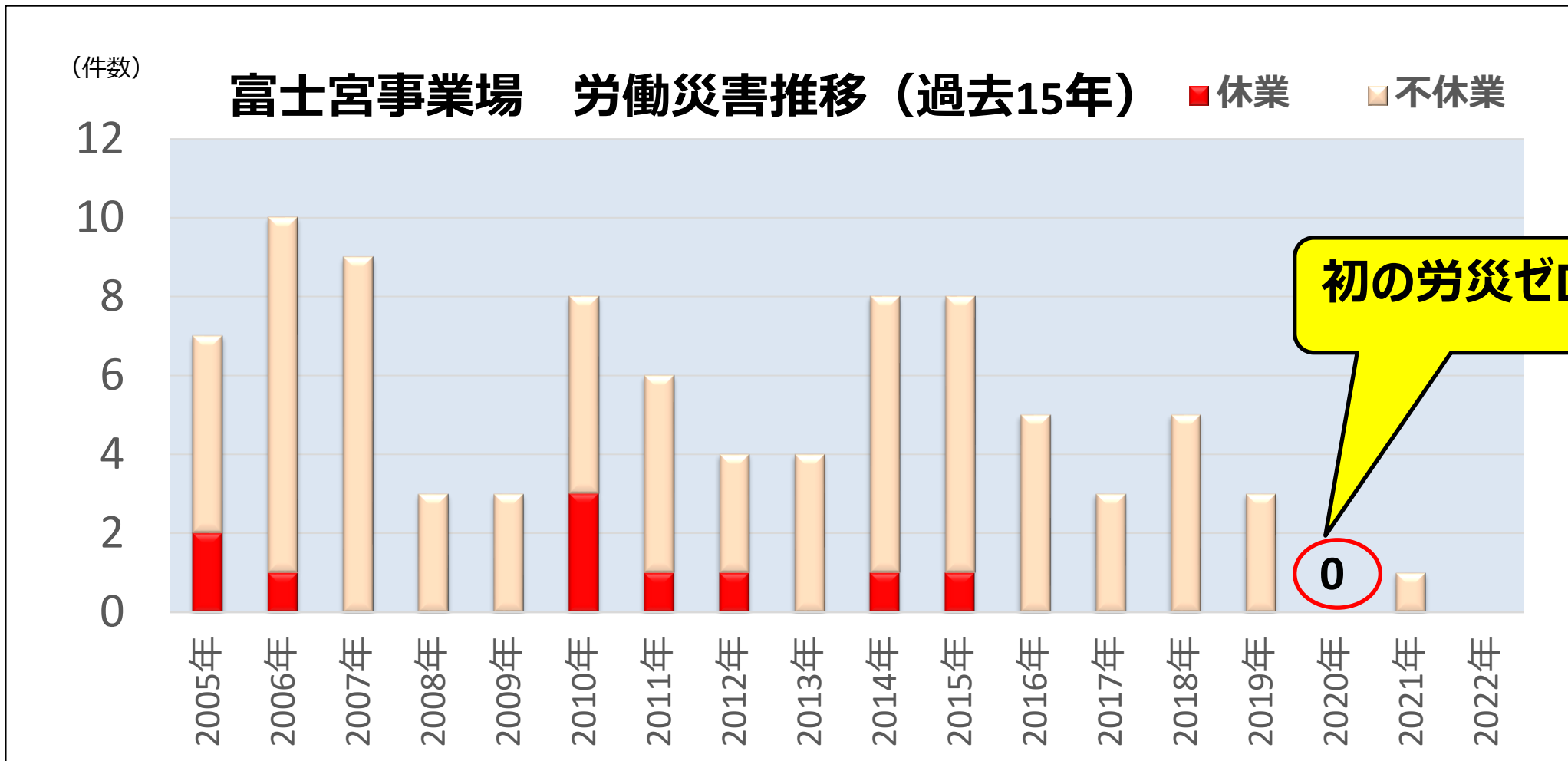
FF 富事業場安全衛生委員会

IMS委員会

FFSH 富サイト安全衛生委員会

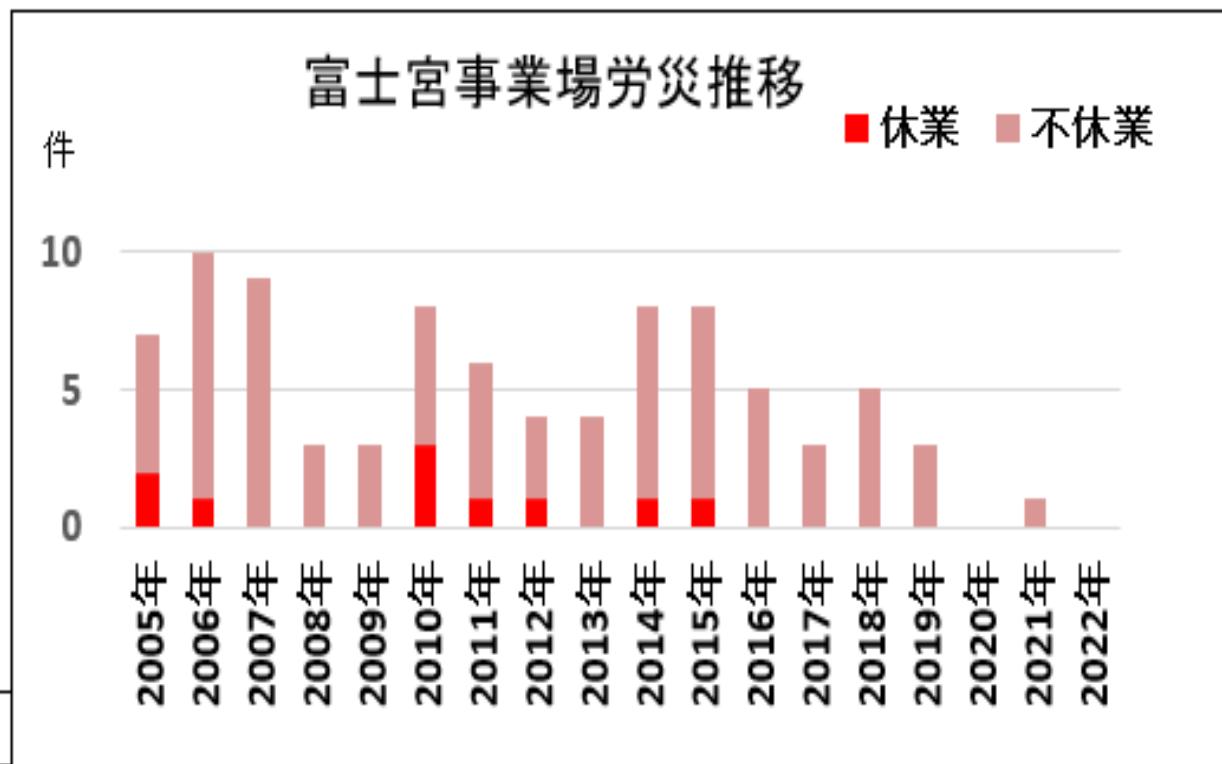
* IMS : 安全・品質・環境の統括マネジメントシステム





※休業労災は2016年から発生なし。一方で不休労災は無くなっておらず、0化を目指した活動を展開した。

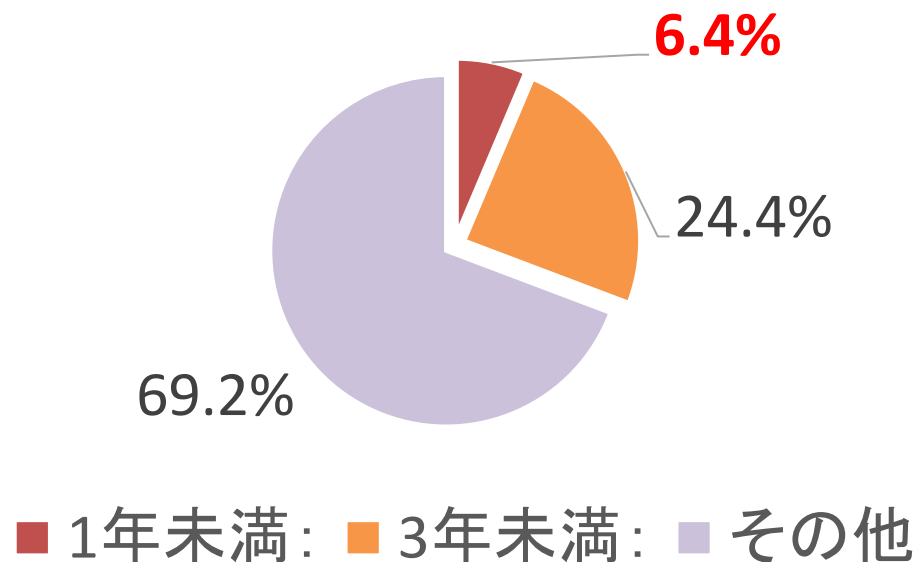
富士宮事業場の労働災害推移



主な取り組み内容	取り組み期間
セーフティーパワーアップ活動	2014年下～2017年下まで実施
リスクアセスメントから 深耕リスクアセスメントへ	2005年から導入開始2019年から深耕 へ移行
危険体感教室に加え KY感度養成教室を追加	2014年～危険体感を開始しステップアップ したKY感度養成教室も2019年より導入
リスク抽出活動と見える化 の積極推進	2017年～各種見える化活動を展開し、 2019年からエフ貼り活動を開始

何が問題なのか？ 過去15年間73件の労災について分析

従業員就業年数比率
(2020年度実績)

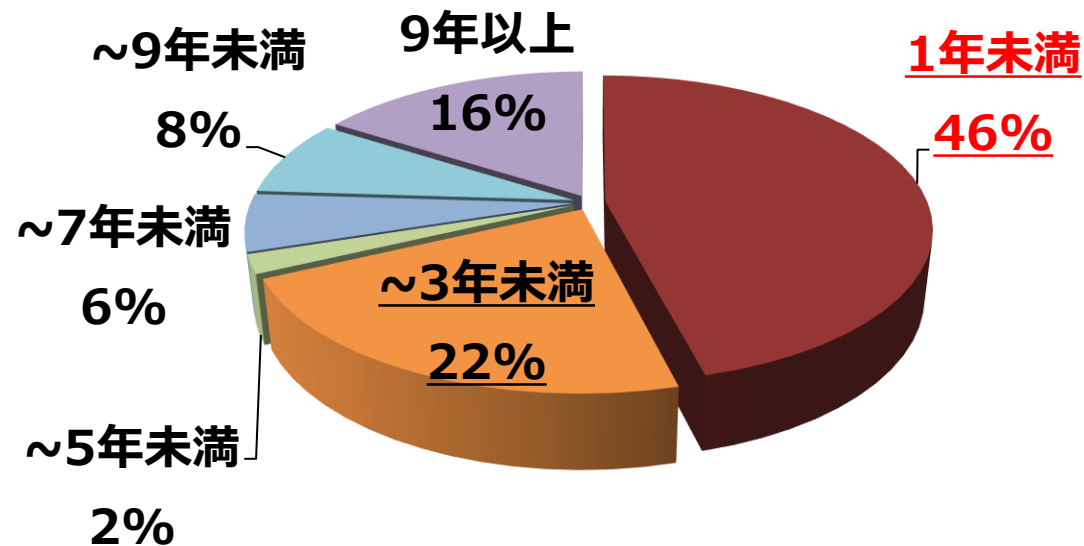


<発生した労災>

経験3年未満の新人が約70%を占めている！

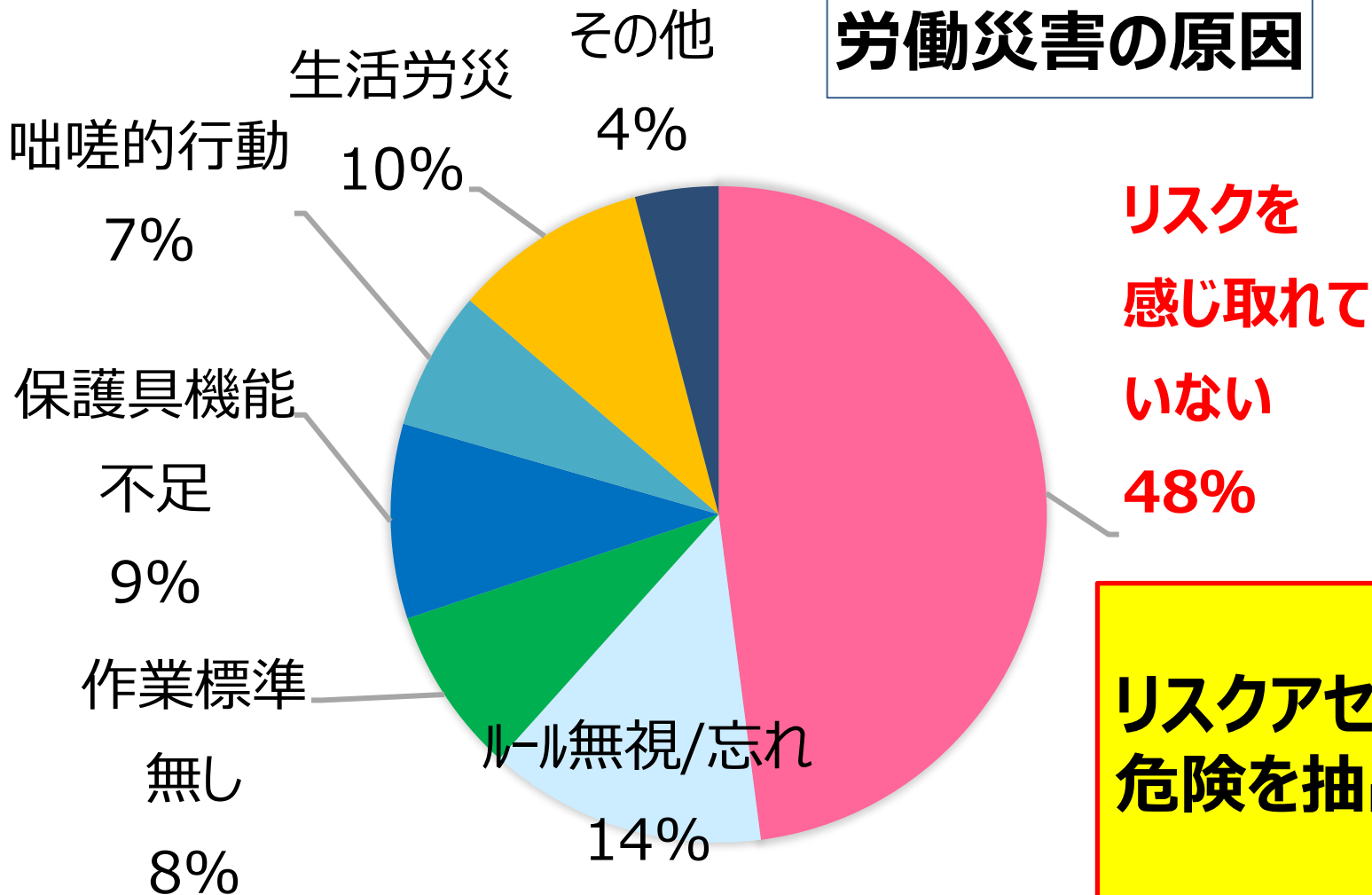
*** 従業員の6.4%しか1年未満の新人はいないが、災害で見ると46%を1年未満の新人が占める。**

職場経験年数別労災発生傾向



何が問題なのか？ 過去15年間73件の労災について分析

労働災害の原因



最も多い原因は、作業者や職場、管理者がリスクを感じ取れていない事で労働災害を起こしている。危険を予見出来ていない！

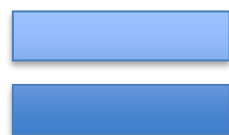
リスクアセスメントや、安全巡視で、危険を抽出できない事が問題？



2017年度労災事例（経験 5カ月）
パート女性の帰宅前に発生！
600kgの台車を運搬し、壁の手前で
停止しようとしたが、停まり切れずに
壁との間に手を挟んで骨折。

**帰宅前での焦りや、作業者の体格差など、背景を見落とし
リスクを抽出できなかった。**

不安全な状態



労働災害
リスク増

不安全な行動

不安全な状態と不安全な行動がどのように重なったら労働災害のリスクが増えるのか？リスクを**考える仕組みとイメージする力が不足している！**

安全活動紹介



1 : 【リスクを抽出する活動】

リスクを抽出する仕組みを作る為、従来のリスクアセスメントから、「かも知れないの観点」で、幅広くリスクを深掘る深耕リスクアセスメントを導入。

2005年～現在
まで活動

2 : 【危険感受性とKY力を養う教室の導入】

自分の身は自分で守る！ことの出来る作業者を育てるため、危険感受性を育てる危険体感教育と、リスクを抽出時に役立つKY力を育てるKY感度養成教室を導入。

2014年～現在
まで活動

3 : 【目で見て危険を知る活動】

危険源・リスクを見える化し、効率的な対策の推進と、見える化する事で作業員全員がリスクを視認し、ケガに発展させない活動の積極推進。

2017年～現在
まで活動

4 : 【セーフティーパワーアップ活動】

従業員一人ひとりが安全を意識し、安全活動を積極推進する事で意識を向上させるセーフティーパワーアップ活動の推進。

2014年下～
2017年下
まで活動

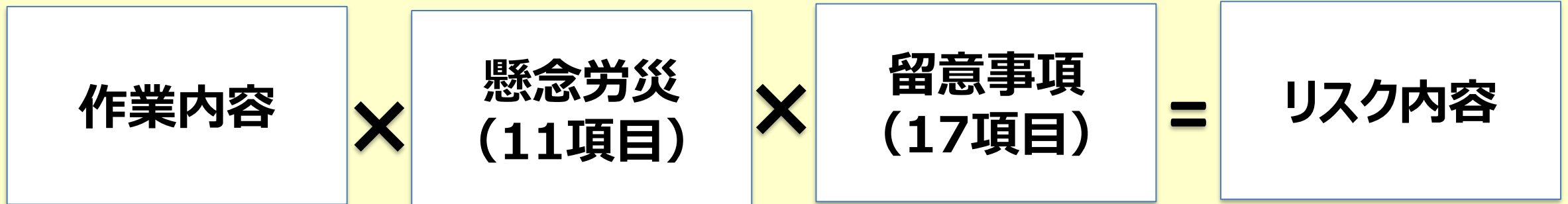
1 : 【リスクを抽出する活動】

● 深耕リスクアセスメントが生まれた理由

従来のリスクアセスメントでは、「かも知れない」の観点でリスクを抽出する事が難しく(訓練の差異)、観点漏れから労災を起こすケースも有った。そこで、労災の発生する背景・情景をシートに追加し「かも知れない」の観点でリスクを抽出する深耕リスクアセスメントに変更した。

<主な変化点>

- ①懸念労災、留意事項のガイドワードを追加
- ②作業内容に各ガイドワードを総当たりでリスク抽出



※ガイドワードとは・・・危険性または、有害性特定を導く言葉

従来リスクアセスメントでは懸念労災だけで運用

懸念労災

- | | |
|-----|-------------|
| (1) | 切創・擦れ |
| (2) | 転倒（ぶつかり、躓き） |
| (3) | 挟まれ、巻き込まれ |
| (4) | 激突（打撲、捻挫） |
| (5) | 腰痛 |
| (6) | 火傷（高温、低温） |
| (7) | 薬傷（飛散、接触） |

- ①懸念労災のガイドワードは別紙で推奨。
シート上に記載なく利用されにくい状況。
- ②リスク内容は個人の危険予知力に依存。

工夫点：労災の起こる背景を留意事項としてシート状に追加

<留意事項>

- ① 体格/体力（性別・年齢を加味）の違い
- ② 置き場や動線が変わったら？
- ③ 気持ちの変化（焦り、油断）
- ④ 近道行動したら？
- ⑤ 作業負荷/作業頻度増
- ⑥ 天候が変わったら？
- ⑦ 手の位置/足の位置の変化
- ⑧ 作業ミスが発生したら？（手順間違いなど）
- ⑨ トラブル・非定常作業が発生したら？
- ⑩ 崩壊・倒壊の可能性は？
- ⑪ 墜落・転落（人）の可能性は？

- ⑫ 感電の可能性
- ⑬ 火災・爆発の可能性
- ⑭ 酸欠・臭気の可能性
- ⑮ 飛来・落下（物）の可能性
- ⑯ 騒音は問題無いか？
- ⑰ その他

漏れがちな観点を抽出し、新たに追加した。

工夫点：発生が懸念される労災を懸念労災とし、留意事項と同様にシート状に追加

選録リスクアセスメントシート

作業名	実施日	実施場所	実施者
実施理由	実施内容	実施方法	実施結果
留意事項	懸念事項	留意事項	留意事項

作業方法	懸念事項 No.	リスク内容	危険源	リスク見積り				リスク評価	対策
				重大性(S)	頻度または時間(F)	可能性(P)	合計(R)		
どんな作業か? ※作業ステップごとに記載	『何をどのように行うのか?』を懸念労災のから順番に照合。留意事項も観点して考え、該当	何が危険源か?	1,3,6,10	1,2,4	1,3,6	リスクレベル			

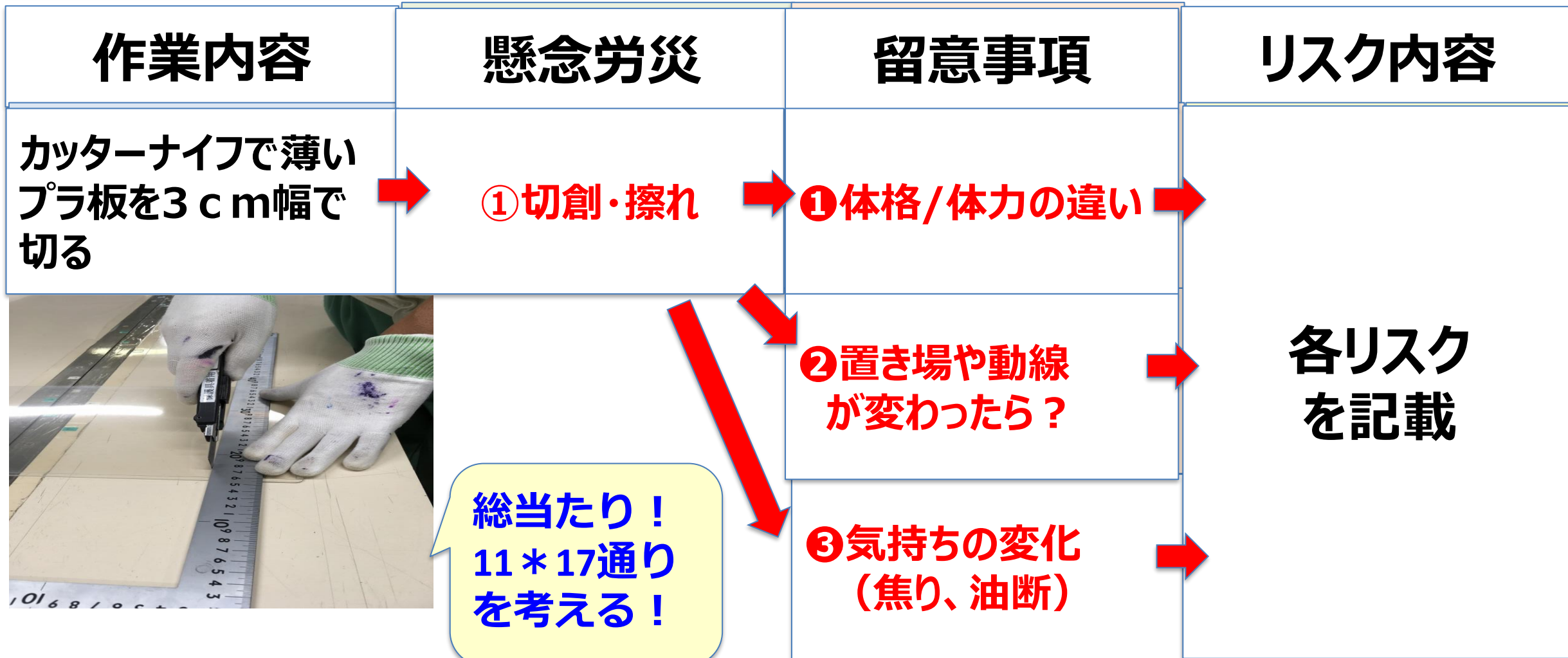
シート上に追加し観点漏れ防止につながった!

- ### 懸念労災
- ① 切創・擦れ
 - ② 転倒 (ぶつかり、躓き)
 - ③ 挟まれ・巻きこまれ
 - ④ 激突 (打撲、捻挫)
 - ⑤ 腰痛
 - ⑥ 火傷 (高温・低温)
 - ⑦ 薬傷 (飛散・接触)
 - ⑧ 腱鞘炎
 - ⑨ 熱中症
 - ⑩ 難聴
 - ⑪ その他

- ### 留意事項
- ① 体格/体力(性別・年齢を加味)の違い
 - ② 置き場や動線が変わったら?
 - ③ 気持ちの変化(焦り、油断)
 - ④ 近道行動したら?
 - ⑤ 作業負荷/作業頻度増
 - ⑥ 天候が変わったら?
 - ⑦ 手の位置/足の位置の変化
 - ⑧ 作業ミスが発生したら?(手順間違いなど)
 - ⑨ トラブル・非定常が発生したら?
 - ⑩ 崩壊・倒壊の可能性は?
 - ⑪ 墜落・転落 (人) の可能性は?
 - ⑫ 感電の可能性
 - ⑬ 火災・爆発の可能性
 - ⑭ 酸欠・臭気の可能性
 - ⑮ 飛来・落下 (物) の可能性
 - ⑯ 騒音は問題無いか?
 - ⑰ その他

リスクアセスメントシート(選録)の作成方法
 留意事項: ① 作業内容(作業内容)の記載
 留意事項: ② 作業内容(作業内容)の記載
 留意事項: ③ 作業内容(作業内容)の記載
 留意事項: ④ 作業内容(作業内容)の記載

工夫点：作業内容に**懸念労災と留意事項を総当たり**させ
リスクを抽出する方法に変更



時間短縮策：エクセルシートに関数を追加
⇒色が変わるリスクレベル表示

工夫点：リスクを見逃さない工夫
重大性で「6」以上、頻度で「4」以上、可能性で「6」以上は、
リスク内容と数字部分の色が変わり、危険認知しやすくした。

リスク内容	危険源	重大性(S)	頻度または時間(F)	可能性(P)
『何をどのように行うのか?』を懸念労災①から順番に照合。留意事項も観点として考え、該当(=想定される可能性)あれば記述する。	何が危険源か?	1,3,6,10	1,2,4	1,3,6
(例) 身長が小さく手探りで荷物を手繰り寄せる際に、段ボールのエッジで手を切る。	段ボール	6	4	6

ポイント：総当たりのため時間を要するが、リスクアセッサーの育成による練度向上や、職場での事前シート準備などで時間を確保し導入に至った。

<対策結果>

◆2020年度より本格導入開始。

<導入効果>

◆2020年度**482件**の深耕リスクアセスメントを実施し、
約12,000個のリスクを抽出、隠れた危険源も抽出できるようになった。
2021年度は456件、約11,000個のリスクを抽出した。
***リスク抽出は従来リスクアセスメントの3倍増となった！**

2 : 【危険感受性とKY力を養う教室の導入】

> 危険体感教室 (2014年～導入)

危険体感教室では、14個のコンテンツを導入（挟まれ、落下、巻き込まれなど他）。危険体感する事で職場の危険を回避することを狙い従業員全員対象で受講を推進。



vベルト挟まれ



落下体験

<代表的なコンテンツ>

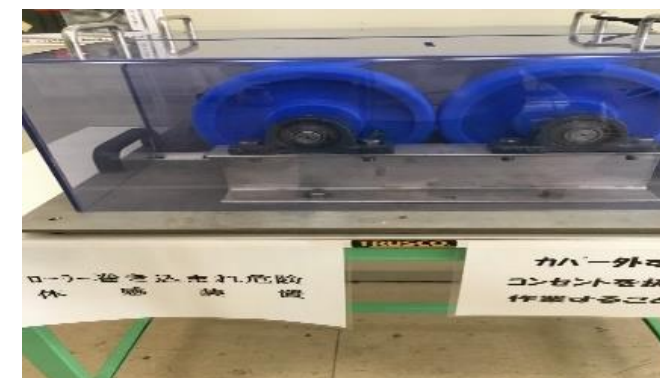
「チャッキング挟まれ体験」

エアー残圧が残った装置が非常に危険である事を認識し、保全時の残圧確認の必要性を知って頂く。



「ローラー挟まれ体験」

回転体での挟まれを体感させ、回転体に触れる作業を絶対にしないとの意識を植え付ける。



「Vベルト巻き込まれ体験」

回転体での挟まれを体感させ、回転体に触れる事の怖さを体感して頂く。



◆危険体感コンテンツ一覧



No	機器名称	狙い	機器写真
1	手探り作業	中に何が入っているか分からない箱に手を入れて貰い、手探りで作業する事の危険性について理解を得る。	
2	重量物持ち上げ	見た目と実際の重さを比較して貰い、目視だけの重さ判断に潜む危険について理解して頂く。	
3	転倒リスク確認体力測定	簡易的な体力測定を実施し、自身の転倒リスクを確認して頂く。	
4	チャッキング挟まれ	エア残圧が残った装置が非常に危険であることを認識し、保全時の残圧確認の必要性を知って頂く。	
5	ワイヤー挟まれ	玉掛け作業時の手の置き場他の重大リスクについて体感して頂く。	
6	飲酒運転	飲酒運転時の疑似体験をさせ、怖さ/危険性を植え付ける。	
7	台車運搬	積載重量による取り扱いの違いを体感させ、台車取り扱い時のヒヤリを削減させる。	

8	ローラー挟まれ	回転体での挟まれを体感させ、回転体に触れる作業を絶対にしないとの意識を植え付ける。	
9	Vベルト巻き込まれ	回転体での挟まれを体感させ、回転体に触れる事の怖さを体感して頂く。	
10	脚立のぐらつき	足場の不安定な場所で脚立を使用した場合の怖さを体感し、適正な使用環境を意識させる。	
11	高所転落	墜落制止用器具の不完全装着での模擬落下を体感させ、高所での墜落制止用器具の重要性を認識して頂く。	
12	感電	感電体感をさせる事で、電気機器使用作業時の耐電手袋の使用などを意識させる。	
13	高水圧	圧力の掛かった配管継ぎ手部を外すことでカップラーが飛び出す事を体感させ、圧による危険を認識させる。	
14	切創体感	耐切創手袋の安全性について、その重要性を理解して貰う。	

工夫点：事業場の中で多い労災について、傾向を分析して必要な機器を揃えた。

苦労点：事業場全員対象に受講を進めることでマンパワーを要した。

工夫点：リスクをイメージする力を養う仕組み作り

①直感的に危険と認識出来るもの

②想定した場合にリスクとなるもの

これらを合わせ、過去労災を含む約70箇所のリスクを潜ませた。

苦労点：教室で受講した事を職場でどのように活かすか？が悩み所であった。

関係者で議論し、自工程を模擬教室と捉えリスクを抽出して頂くこととした。

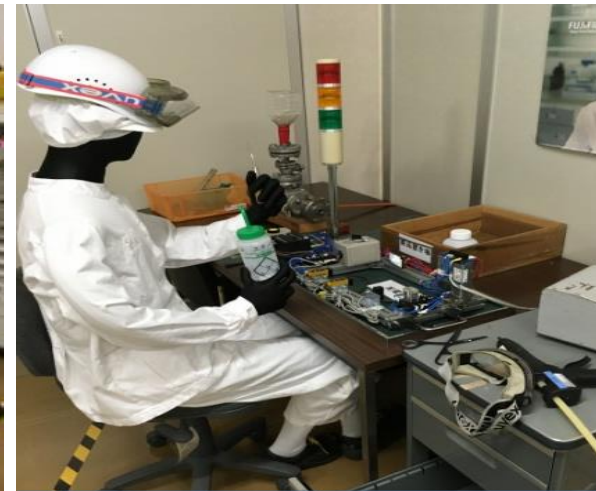
結果、事業場全体でのリスク摘み取りに寄与できた。



薬品移液作業



保全作業①



保全作業②



袋閉じ作業

● リスクの一例

薬品移液作業



ホース固定金具無し

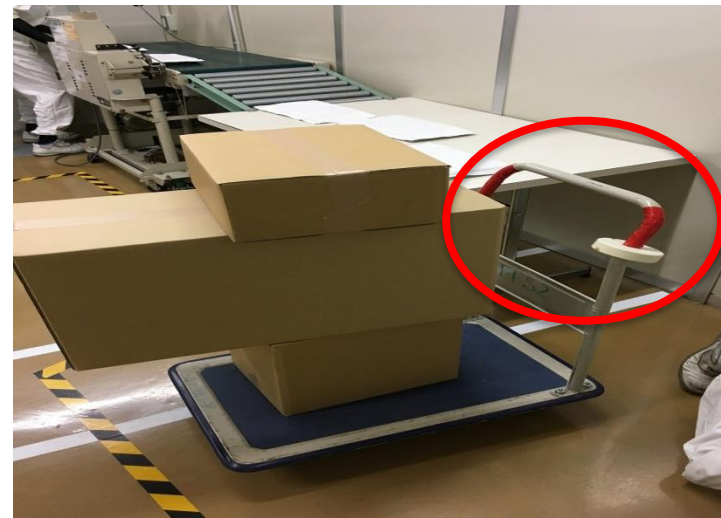
ポンプをONした瞬間にホースが抜けて薬品を浴びてしまう！

● リスクの一例

保全作業①



工具が外れ
足を刺す



接触防止
ゴムリング無し、
リング位置不良、
など

● 主な教室受講内容

その1：20分間でのリスク抽出

ポイント：労災に発展する**具体的なメカニズム**をしっかりと記載して貰う事でイメージする力を養う。

実際の作業現場では、**具体的に何がどうなってリスクに発展するのかをイメージできる力が重要**であり、その部分を鍛えるために、メカニズムの具体的な記載には特に力を入れている。

20分での抽出件数は、平均で18件程度
のリスクが抽出される。ただし10件以下の
少ない人は再受講を行う。

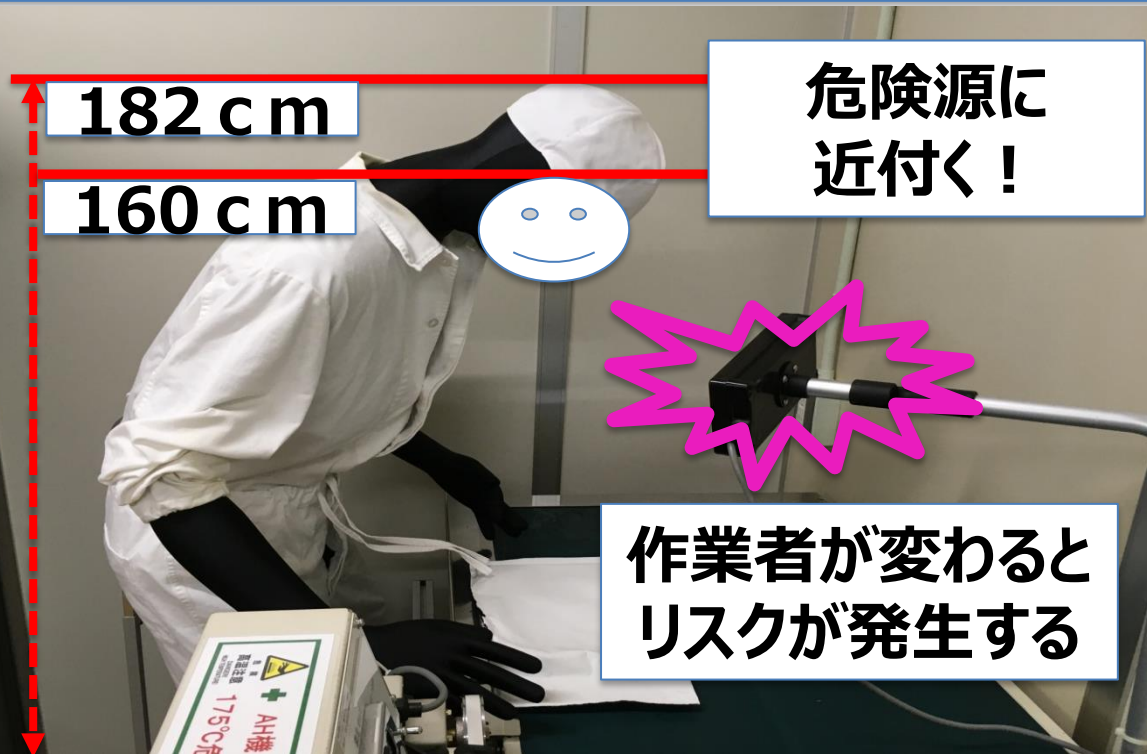


教室受講風景

● 主な教室受講内容

その2 : リスク抽出観点の補強

ポイント : 必ず見つけて貰いたい重要な部分で漏れている所は、
観点の不足を補う。



「人が変わるとリスクでなかったものが
リスクに変わることが有る」
など、20分のリスク抽出中に
受講者に各種観点をアドバイスし、
リスク抽出の材料とする。
その上で不足した観点は、説明して
補う。

● 受講後は・・・

その3 : 教室から自工程へ展開し、**類似リスクの抽出**を実施。
2020年度は**484個のリスク**を職場で抽出し改善につながった。

事例)

【対策前】



接触防止リングの位置不良

【対策後】



【対策前】



スクレーパーが無造作に収納

【対策後】



3 : 【目で見て危険を知る活動】

> エフ貼り活動事例

2017年からリスク抽出活動を展開していたが、2019年から個人の気づきを見える化し、対策を推進する為の「エフ貼り活動」を新たに展開。また、KY感度養成教室で養った感度で、職場を「~かも知れない」の観点で、観察する「エリアを絞ったリスク抽出活動」をチーム単位で取り組みリスクを抽出した。

工夫点： 工程図を職場に掲示し、どこで何のリスクが有るのか明示。リスト表も併せて作成し、対策内容や納期を決めリスク対策を推進した。

苦労点： 当初は個人の活動を表に集約したもので活動に関心の出ないメンバーもいた。この対応のため、自職場をKY感度養成教室に置き換えチームとしてリスクを抽出する活動を実施。



「活動事例発表」

◆全国産業安全衛生大会

従業員の安全に関する取り組み努力に感謝を込めて、2021年度10/29に東京国際フォーラムにて「深耕リスクアセスメントによる隠れた危険源撲滅活動」を発表。従業員の頑張りを社外にPRした。



「安全の見える化」

◆令和3年度厚生労働省「見える」安全活動コンクールに応募 ⇒ **優秀事例**

社内で見える化コンテストを実施し、金・銀・銅賞を選出。金賞に選出された作品を厚労省に応募。優秀事例に選出された事で、更なる従業員の意欲向上に繋がった。

腰痛を防ぐための「見える化」
鉄製のピット上蓋をアルミ製に変更し軽量化！

300排水ピットのレベル計点検を行う際、ピット上蓋を持ち上げ移動させ、レベル計の点検を実施している。上蓋が鉄板の為、非常に重く移動させる際に腰を痛める恐れがあった。

ピット上蓋の素材をアルミ製に変更し26kg軽量化した。また、軽量化による気の弛みで腰を痛めないように「蓋開閉時の注意表示」をしたことで、腰痛防止の「見える化」に繋がりを、移動させる際に腰を痛める恐れが解消された。

富士フイルム（株）富士宮事業場
新たなリスクに対する素早い対応が良い

4 : 【セーフティ-パワーアップ活動】

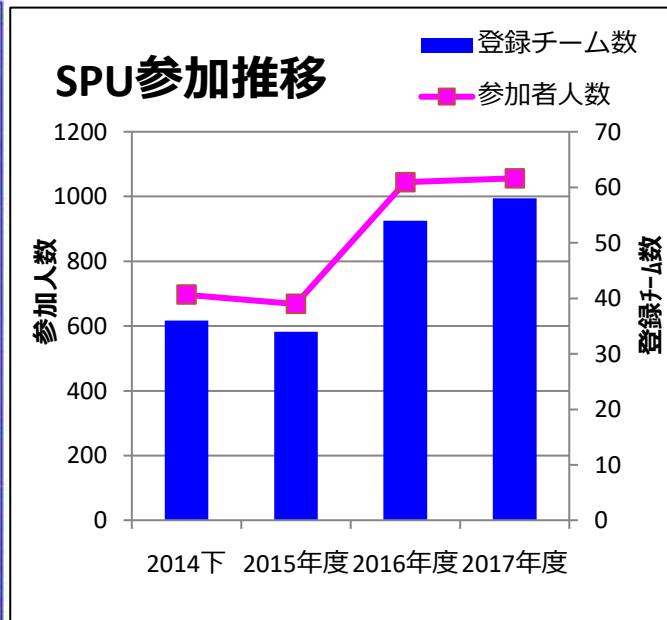
● 全員参加のSPU活動（セーフティーパワーアップ活動）

2014年度に立て続けに労災が発生した事で、安全意識の底上げを行うべくSPU活動を導入した。

<活動詳細>

- ・ チームを作り、**全員参加**で「安全意識を上げる取り組み」をキーワードに課題形成し取り組み。
- ・ 半期に1回活動の紹介をポスターセッションなどで実施し**好事例を共有**した。
 また、**新聞なども発行**。
- ・ **表彰制度**を設け、従業員の意識高揚を実施。

<事例>



工夫点：活動の活性化を促すため、チームを登録制とし、中間報告会を設けるなど、停滞防止につなげた。

苦労点：活動の温度差がどうしても部門間で発生する。好事例を新聞で共有し、意識向上を行った。

【その他 安全活動】

> 交通安全啓蒙活動

事例) ドライブレコーダー視聴

SharePoint

このリス

富おしらせ

ホーム

日付別

- 安全(ドライブ動画)
- (富)献立表
- ヤマト運輸_B2クラウド
- サイトリンク
- 旧「富」お知らせ

+ 新規

グリッドビューでの編集

ドライブ動画 ☆

リスト + 列の追加

- ドライブ動画(2021/10)
- ドライブ動画(2021/11)
- ドライブ動画(2021/12)



ドライブレコーダー画像



ホームページを作成し、従業員が視聴できる環境を構築している。

● 2022年度 安全衛生重点施策

**スローガン：職場のリスクを見える化し、
ゼロ災を達成する！**

- ① **リスクの「見える化」を推進し
災害を防止する**
- ② **リスク摘み取り活動の推進**
- ③ **安全教育の推進とルールの定着**
- ④ **交通加害事故ゼロへの取り組み**
- ⑤ **心身の健康づくりと職場環境向
上の推進**
- ⑥ **新型コロナウイルス/防災/激甚
災害 対応の推進**



「トピックス」
【リスクの「見える化」を推進し災害を防止する】
<狙い>

**新人・未熟練者にもリスクが分かるように
見える教育を行う。**

・活動の概要

① 現場のリスクを探す

各職場でグループ分けを行い現場を巡視し、自職場の
トラブルや設備、作業状態を徹底観察。新人目線で
リスクや気掛かりを抽出する。

② 危険を防ぐ！

危険を防ぐ為、①で抽出したリスクに対し
何を表示したいか？どんな表示が良いか
グループで議論する。

* 全員で議論する事でリスクを認識し、安全意識を
浸透させる。

③ 事業場共通リスクポイントデザイン制定

誰がどこに行ってもリスクに気が付ける共通デザインを
制定した。

ご清聴ありがとうございました。

ご安全に！